

議会だより

人口 8,256 人
(2019.4.1 現在)
(対1月比 3人増)



3月 定例会

どうなってるのか教えてちょ～ 一般質問	2～7
3月定例会 議案と審議結果	8～9
新年度予算が決定しました	10～11
委員長から報告があります!	12～13
あの人このひと	14
議会日誌	15
私が思うこと	16

発行 岐阜県加茂郡坂祝町議会 **編集** 議会広報編集委員会

〒505-8501 岐阜県加茂郡坂祝町取組 46-18 ☎ 0574-66-2402(直通)

ホームページアドレス <http://www.town.sakahogi.gifu.jp>

メールアドレス gikaijimukyoku@town.sakahogi.gifu.jp



どうなっとるのか 教えてちょ〜!!



一般質問は、議員の日常活動や考え方にに基づき、行政全般に対する質問の要旨をまとめ、指定日までに議長に通告します。

1人の制限時間は60分（一問一答方式は50分）で、3月定例会では4日目の3月4日に開催し、9人が町政の課題について質問しました。



河村利道 議員

問 シルバー人材センター事業について

シルバー人材センターは、高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に地域社会の活性化に貢献できる組織である。そのシルバー人材センターの事務所及び作業場は勝山地区に設置されているが、土砂災害警戒区域に指定されており、建物も古く大規模な地震が起きれば倒壊する危険がある。

事務所及び作業場の移転と今後のシルバー人材センターのあり方について、町の考えを尋ねる。

答

福祉課長

シルバー人材センターの会員の皆様には、就業の機会を通じて地域社会に貢献をされ、町としても様々な施設の清掃業務や環境衛生関連業務、除草業務など多岐にわたる事業を展開していただいております。

事務所及び作業場所については今後、空き家等の活用も視野に入れ、シルバー人材センターと協議をし、ご意向を伺ったうえで対応の方向

を改めて検討してまいりたいと考えております。

また、シルバー事業の活動は、就業の機会の確保による生きがいづくりや就業による健康の維持・増進の効果、及び医療費負担の抑制効果等の副次的効果も多々あることから、今後とも引き続き事業の円滑な運営のため協力できる範囲で支援をしていくことが必要であると考えております。



シルバー人材センターの事務所及び作業場の候補地として、勝山の元町宮住宅跡地も視野に入れて検討いただけるか。

答

福祉課長

検討します。



松田和樹 議員

問 学校給食費について

①平成30年度から給食費が公会計となり一年が経とうとしている。公会計となって良かったことなどの成果と課題を尋ねる。
②給食費の徴収は、働き方改革の中にも基本的に学校以外が担うべき業務とされている。当町においても学校徴収金について検討すべきかと考えるが。

答

教育課長

①良かった点は、
・食材の質を落とすことなく給食を提供できたこと。
・暴風警報などで、給食を廃棄することがあっても、廃棄分は給食日数に含まれないため、保護者への給食費には加算されないこと。
・予備的な食数分を確保でき保護者へ転嫁をすることなく、一般会計での負担として確立できたこと。
・新聞にも掲載された様に、食の推進と学びのため、中学3年生を対象にテーブルマナー給食を企画し、将来に備えて洋食のテーブルマナーを学び中学校生活の思い出づくりにと、2日間

で1クラスずつ実施することができたこと。
が挙げられます。

課題として、3月分の給食費については、2月上旬に徴収し徴収分の給食費を月末精算し一般会計へ振替しているため、欠食やアレルギー除去食分の給食費の返金をどのように進めていくか模索しているところです。
②検討します。



浮中敏雄 議員

問 避難所への防災Wi-Fi環境の整備について

①災害時において、被災者・避難者はもちろん行政においても様々な「情報」を迅速に得ることは重要なことである。災害時に情報弱者を作らないよう有効的な情報伝達手段の確立を望み、指定避難所へのWi-Fi環境整備を提案する。

②福祉避難所である幼稚園にも将来整備していく予定はあるか。

答

総務課長

①平成29年4月から指定避難所6か所で緊急時にWi-Fiが利用できるようすで環境整備しております。

②費用が高く今のところは、整備できないが今後調査、研究し整備するように検討していきます。



問 認知症患者の事故について

認知症になった高齢者の徘徊中の事故などに対し、家族が損害賠償を請求されるといった事態に備え、認知症患者を対象にした民間の賠償保険に公費で加入する自治体が増えている。行政がこうした保険に加入することにより、在宅介護の家族が安心できるのではないか。

答

福祉課長

重大な事故につながるリスクを減少させるため、当町でも万が一の場合に徘徊高齢者を速やかに発見するネットワークの体制などを整えていき、又、認知症高齢者などを介護する家族の負担軽減のために、保険制度についても、必要な方があった場合には随時、積極的に情報提供していきます。又、公費加入については国、自治体の動向を調査研究して検討していきたいと考えます。



小寺 忠 議員

問 新年度予算について

町財政は早期健全化指標で見る限り、健全財政を維持している指標が報告されている。新年度予算編成にあたり、どの様な方針で予算を提案されたのか。また、重要な指標となる経常経費比率の目標値は設定されたか。

答

総務課長

税収は横ばい、地方交付税や臨時財政対策債は減額傾向にあり、歳入全体としては厳しい状況となっています。

予算編成にあたっては、可能な限り情報収集

に努め、特定財源確保に努めるとともに、経費節減と効率化に取り組み、スクラップアンドビルドを意識して不要な経費は大胆に削減するように全職員に指示しました。

経常収支比率については例年90%を超えないように運営していくと掲げていますが、今回は85%を目標として職員に通知しました。平成29年度決算における経常収支比率は89.7%でしたので高い目標設定かもしれませんが、そのくらの意識で取り組むように通知し、予算編成を実施しました。

しかし、人件費、扶助費の増加については、削減することができません。そのため、臨時的経費の中で物件費を削減するため、道路などの改良工事や、町施設の委託料の削減を行わなければならぬと考えています。要望されている道路拡幅、改修工事などについては、長期的な展望で計画的に行っていきたいと思えます。



竹内浩一 議員

問 子育て支援拠点施設について

子育て支援拠点施設建設について、議会としては現コミュニティセンターの位置で、アンブレラとつくご教室に事業を特化し、建設費用を最小限に抑えることに意見統一し、町長に答申した。

しかし去る1月22日に開催された議会との協議

の場で町長は、これまで通り中央公民館周辺での大規模な計画に変わりがないと説明された。

昨年1、534人もの町民から意見書が提出され、町長はこれを重く受け止めると言われた。しかし何ら検討されたような説明はなかった。また、町長は子育て支援拠点整備について統一地方選で信を問えば良いとも発言された。

この子育て支援拠点施設建設計画を多くの町民に理解してもらうために、どのような努力をされるのか。



答

町長

これまで議会に対して、中央公民館周辺で造りたいと申し上げてきました。また、自治会の新年会やシニアクラブとの会合でも同様に説明してきました。しかし色々な方から、頑なに成るなか、町の財政を考えると大変だ、などのご意見をいただきました。それで考え方を変え、実現するためにコミュニティセンター西側の寄附地への建設に方向転換しました。

1月22日の説明から180度考えを変えたのはいつか。

答

町長

それを聞いて何になるのかよく分かりません。いつ変えたかが重要ではなく、どう変わったのかが大事であると思います。180度変わったも、町のためになるなら仕方ないと考えたということです。



新井谷正代 議員

問

坂祝町のお金の使い方について

- ① 予算はヒアリングを行い、町の総合計画、2・3年後、10年後にあるべき姿などを総合的に考え、組まれるものと認識しているが、町長の考えはどうか。
- ② 町民ふれあいプールについて、指定管理方式での運営の方が経費節減になり、サービスも多くなると思うが、3年計画で改修工事を行うことを理由に町直営方式で運営すると言った。しかし平成31年度工事は行われぬ。そもそも3年計画はあったのか。
- ③ 平成25年の美濃加茂市民プール閉鎖時に、近隣市町に広域での負担をお願いする良いチャンス

だったと思うが相談はしたか。

- ④ 子育て支援について、財政収支が分かっているはずの町長だが、足元を見ていない理想だったのではないか。
- ⑤ 子育て支援の療育の部分は町でしっかり行い、ふれあいの部分は大型商業施設内に作ってもらえたら、利用者も便利で町経費も削減できると提案してきたが、「あちらはあちらで作れば良い、町は町で作る」と言われていた。その考えは変わらないか。



答

町長

- ① プレゼン・ヒアリングを経て、財政全体を見ていくのが経営会計だと思っています。
- ② 明確な答弁なし

問

町長の立場について



飯田正仁 議員

- ③ 近隣市町村に負担はお願いしていません。
- ④ 理想は持っていますし、足元も見ています。
- ⑤ もし可能であれば、子育て支援に関するものを入れてもらえるようこれからは協議していきたいと思います。



- ① 町長は、『私が国や県に要望するのは、丸山ダムと農水管の敷設替えだけで、坂祝独自の要望はしない。』と発言されているが、町民の利益のために行動するのが町長ではないのか。
- ② 21号バイパス工事に伴い、1年7ヶ月前に国交省が施工した町道の法面が崩落し、補修費の大半を町費で賄うことになったが、町長は一度も要望に国交省（東京）へ行かれなかった。こういう時こそ町長の出番ではないのか。

- ③ 七宗町のように、37億円もの「ふるさと納税」を得ている町もあるが坂祝町は5千万円。6年前に

質問した時、なぜ「ふるさと納税」に力を入れなかったのか。

④町長は、フェイスブックで『住民のためになっていない議員のアイデアは、放ってしまおう。』と発言されている。住民のためになっているかどうか判断するのは町民ではないのか。

答

町長

- ①必要があるときは動きます。
- ②担当者が岐阜国道事務所へ出向きました。
- ③総務省の指導により、地元のものではないものや過剰な返礼品ははずしました。
- ④町民です。



松田賢治 議員

問 国民健康保険料（税）の負担軽減について

国民健康保険税の「均等割」は子どもの多い世帯を直撃し「子育て支援に逆行」と批判されている。子育てが実感できる地域づくりとして、子育て世帯の「均等割」「平等割」の減額による子育て支援を求める。

答

住民課長

市町村国保の加入者に高負担を強いていることは、国民皆保険制度の最後の砦としての国民健康保険制度の課題であり、国の制度設計の問題として要望等を行っていく必要があると思います。

町では、平成31年度から国税資産割の廃止によって税負担感の軽減を図り、新制度移行後の5年程度を用途に、今後しばらくは増え続けるであろう医療費及び事業納付金に対応しつつ、急激な保険税の負担増を招かない仕組みを構築し、また国への『子育て世代の均等割減免制度の創設』の要望活動にも参画して、保険者努力支援制度の取組や子育て支援の制度などの研究を続けていきます。

問 坂祝町受動喫煙防止条例設置について

受動喫煙による死亡者数は年間1万5、000人、能動喫煙で亡くなる人は毎年12万人から13万人いると言われており、日本では生活習慣病による死因のトップが喫煙である。公共施設や職場などでの禁煙を徹底することが必要であり、町民の健康増進を図る観点からも受動喫煙防止条例の設置を求める。



答

総務課長

平成30年7月に「平成30年法律第78号」健康増進法の一部を改正する法律が改正され、受動喫煙の防止を図るため、多数の者が利用する施設等の区分に応じ、当該施設等の一定の場所を除き、喫煙を禁止するとともに、当該施設等の管理について権限を有する者が講じるべき措置が定められました。学校、病院、児童福祉施設等、行政機関は、2019年7月1日から施行されます。町としては、4月1日より、庁舎内禁煙、喫煙場所の指定を行います。

また、受動喫煙防止条例制定について、今後は法律の内容、他市町の条例制定状況を見ながら、調査研究していきたいと考えています。

問 労働者の生活を守る坂祝町公契約条例の設置について

公契約条例や低入札価格調査制度は、労働者にまともな賃金が支払えているかも含めて、積算根拠の提示を求めてチェックすることができず。入札価格には福利厚生費や退職引当金が含まれています。ダンピング受注を排除する方法として「低入札価格調査制度」「最低制限価格制度」等があります。財務省の入札契約適正化法に基づく指定管理制度の対応まで含めた公契約条例の設置を求める。

答

総務課長

ダンピング受注対策については、現状の最低制限価格制度での実施を今後も続けていきたいと考えています。

公契約条例の制定についてはご指摘の通り、現在建設業界が人材不足である状況のため、建設業者を取り巻く環境を良好にし、担い手不足解消に向け、発注者である坂祝町も、その責務を果たす必要があると思っております。発注者としての責務を果たすために、柔軟な工期設定、週休2日制工事の導入や、建設業界の担い手不足解消に向けた要領の整備等、順次進めてまいりたいと考えています。

なお、公契約条例の制定については、指定管理者選定等に関する条項も岐阜県公契約条例に記載されていますので、近隣の市町村の公契約条例の制定の状況を見ながら、調査研究していきたいと考えています。



柴山佳也 議員

問

新年度予算への取り組みについて

この3月定例会を予算議会と位置付け、次のことを質問する。

①12月の質問では、事務事業評価は行っていない。現在うまくいっていないことを真摯に捉え、方法や職員負担を考えて本当に有効な評価ができるよう考える必要がある、と答弁されているが、その後どのように考え、今回の予算にどのように反映されたのか。

②同じく職員全員が意識して予算規模を抑えていくために、事務分掌および組織の見直しについて外部委託も含めて課長会議で検討・議論していくと答弁されているが、今回支出超過の財政をどのように改めようとしたのか。

③町民ふれあいプールの今後の運営について、大規模改修を実施するのか・延命的な整備で留めるのか・プールを閉鎖し、事業転換を図るのか・他市町への負担金を求めプールを継続していくのかを多面的に検討していくと答弁されているが、その後どのように検討されたのか。

答

総務課長

① 今回の予算編成時には、スクラップ&ビルドも考えた予算編成を各課に依頼しましたが、しっかりした検証に基づかなければ、事業を切ることはできないと思います。そのようなことから、平成31年度は、事務事業評価を実施し、スクラップをできるように、検証を行いたいと思います。

② スクラップ&ビルドのスクラップ部分を意識して、大胆な事業費削減案を財政担当課として作成し、三役会議にて調整し予算規模の縮小を図りました。

事務事業評価をしっかりと実施し、見直すことで歳出の抑制ができるものと思います。しかし今後、経常経費の中でも扶助費、人件費が膨らむと思うので、できるだけ住民生活に支障のないような削減を行いたいと思います。

③ 今後は、通常の運営費でやれる範囲で続ける方向です。しかし、プール建設から23年が過ぎ、大規模な改修も必要となってきます。その時点で、プールの運営については、継続するのかその他の利用方法があるのか、また休止するのかなど、色々な方向から検討していきたいと考えています。

財政調整基金はどれだけ保有するのがベストと考えるか。

答

町長

5億円あれば、まずはやっていけると考えています。

3月定例会

平成31年第1回坂祝町議会定例会は、3月1日から3月15日までの15日間の日程で開催しました。提出議案は条例案件7件、予算案件12件、その他案件5件で、それぞれ審議・採決した結果、以下のとおりとなりました。

議案と審議の結果

議決結果		議決結果	議 員 名									
賛否状況			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
議案番号	議 案 名 主 な 内 容	柴山佳也	河村利道	松田和樹	浮中敏雄	小寺忠	永松英三	竹内浩一	新井吉正代	飯田正仁	松田賢治	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度坂祝町一般会計補正予算（第5号）） 586万円を追加し、総額を36億386万円とする。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第1号	坂祝町議会委員会条例の一部改正 議会常任委員会を総務振興委員会・福祉文教委員会の2委員会から、総務委員会1つとするための改正。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第2号	坂祝町課設置条例の一部改正 水道課の名称を水道環境課へ改名するための改正。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第3号	坂祝町職員定数条例の一部改正 職員定数を81人から86人に変更するための改正。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第4号	坂祝町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 園・学校運営協議会及び地域・園・学校協働本部をそれぞれ設置することによる、委員及び本部員への報酬支給について定める。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第5号	坂祝町国民健康保険税条例の一部改正 課税額の算定から資産割をなくし、所得割・均等割・平等割の3方式とするための改正。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第6号	坂祝町農業集落排水処理区域流入分担金徴収条例の一部改正 下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴い、所要の改正を行う。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第7号	坂祝町上水道事業給水条例の一部改正 例規において使用されている「水道事業」と「上水道事業」の語句について「水道事業」に統一する。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第8号	平成30年度坂祝町一般会計補正予算（第6号） 1億5,106万円を減額し、総額34億5,280万円とする。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第9号	平成30年度坂祝町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 6,078万円を減額し、総額10億867万円とする。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第10号	平成30年度坂祝町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） 60万円を減額し、総額8,325万円とする。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第11号	平成30年度坂祝町介護保険特別会計補正予算（第3号） 78万円を追加し、6億1,463万円とする。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第12号	平成30年度坂祝町農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号） 42万円を減額し、総額6,479万円とする。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
議案第 13 号	平成 30 年度坂祝町公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号） 953 万円を減額し、総額 2 億 1,162 万円とする。	◎	○	○	○	○	○	—	○	○	○
議案第 15 号	平成 31 年度坂祝町一般会計予算 34 億 6,000 万円を計上	◎	○	○	○	○	○	—	○	○	○
議案第 16 号	平成 31 年度坂祝町国民健康保険特別会計予算 9 億円を計上	◎	○	○	○	○	○	—	○	○	○
議案第 17 号	平成 31 年度坂祝町後期高齢者医療特別会計予算 8,260 万円を計上	◎	○	○	○	○	○	—	○	○	○
議案第 18 号	平成 31 年度坂祝町介護保険特別会計予算 6 億 3,900 万円を計上	◎	○	○	○	○	○	—	○	○	○
議案第 19 号	平成 31 年度坂祝町水道事業会計予算 2 億 7,767 万円を計上	◎	○	○	○	○	○	—	○	○	○
議案第 20 号	平成 31 年度坂祝町下水道事業会計予算 4 億 1,416 万円を計上	◎	○	○	○	○	○	—	○	○	○
議案第 21 号	町道の路線の認定について（黒岩 8 2 号線） 黒岩字東野 1397 番 1 地先から黒岩字東野 1397 番 9 地先まで	◎	○	○	○	○	○	—	○	○	○
議案第 22 号	工事請負変更契約の締結について（深萱～取組線法面復旧及び改築工事） 工期を 5 月 31 日まで延期する。	◎	○	○	○	○	○	—	○	○	○
同意第 1 号	坂祝町教育委員会教育長の任命同意 高橋正郎氏	◎	○	○	○	○	○	—	○	○	○
同意第 2 号	人権擁護委員の推薦同意 武山ひとみ氏	◎	○	○	○	○	○	—	○	○	○

COLUM

平成 31 年 4 月 1 日から、「坂祝町農業集落排水特別事業会計」と「坂祝町公共下水道事業特別会計」は、地方公営企業法の全部適用を行い企業会計となり、これまでの 2 つの会計をまとめて「坂祝町下水道事業会計」として運用を開始しました。

また、これまであった「坂祝町上水道事業会計」は「坂祝町水道事業会計」と会計名称を変更しました。

なお、「坂祝町水道事業会計」「坂祝町下水道事業会計」を担当する「水道課」も、「水道環境課」に課名変更されました。

「坂祝町農業集落排水特別事業会計」
「坂祝町公共下水道事業特別会計」



「坂祝町下水道事業会計」

「坂祝町上水道事業会計」



「坂祝町水道事業会計」

「水道課」



「水道環境課」



新年度予算が決定しました!

総予算額

57億7,342万円

一般会計・・・34億6,000万円
 特別会計・・・16億2,160万円
 水道事業会計・・・2億7,766万円
 下水道事業会計・・・4億1,416万円

平成31年度の一般会計予算額は、前年度当初予算と比べて1,119万円の減、総予算額については1億5,071万円の増となりました。

なお、農業集落排水事業および下水道事業特別会計は、公営企業会計に移行し、下水道事業会計となりました。また、上水道事業会計は水道事業会計と変わりました。

(単位：万円、%)

会計名		31年度予算	30年度予算	増減額	増減率
一般会計	議会費	5,816	5,617	199	3.5
	総務費	5億7,654	5億5,155	2,499	4.5
	民生費	11億6,884	11億614	6,270	5.7
	衛生費	2億347	2億330	17	0.1
	農林水産業費	1億4	1億488	516	4.9
	商工費	8,445	979	7,467	762.7
	土木費	2億8,342	3億8,457	△1億115	△26.3
	消防費	1億7,494	2億2,891	△5,397	△23.6
	教育費	5億6,035	5億8,651	△2,616	△4.5
	公債費	2億3,479	2億3,436	43	0.2
	予備費	500	500	0	0.0
	計	34億6,000	34億7,119	△1,119	△0.3
特別会計	国民健康保険	9億	9億5,000	△5,000	△5.3
	後期高齢者医療	8,260	8,580	△320	△3.7
	介護保険	6億3,900	5億8,570	5,330	9.1
	農業集落排水事業	0	5,320	△5,320	—
	公共下水道事業	0	1億9,840	△1億9,840	—
	計	16億2,160	18億7,310	△2億5,150	△13.4
水道事業会計		2億7,766	2億7,842	△76	△0.3
下水道事業会計		4億1,416	0	4億1,416	—
合計		57億7,342	56億2,271	1億5,071	2.7

平成31年度 新規事業等の抜粋



坂祝町 防災ハザードマップ

防災ハザードマップ作製 844万円

土砂災害警戒区域、河川浸水区域、想定最大震度等を網羅したマップの作製。



保健センターカーペット張替 425万円

保健センターのカーペットを張替えます。



道路の維持管理・整備 7,480万円

黒岩15号線側溝工事・酒倉22号線排水路設置工事ほか、道路整備を行います。



サンライフさかほぎ空調工事等 1億725万円

サンライフさかほぎの空調・給湯設備改修工事及びカラオケ機器の更新を行います。



図書システム更新等 700万円

中央公民館図書室、小中学校図書室の図書システムの更新等を行います。



給食センター設備取替工事 1,935万円

学校給食センターの蒸気ボイラーの取り換え工事を行います。

常任委員会では、平成31年度予算について審議を行いました。
なお、執行部に対して各委員会から次のように意見・要望しました。

総務振興委員会

- 財政の厳しい折、更なる歳入の確保に努め、行政コスト削減に工夫を求める。
- 消防費関係について
 - ・女性防火クラブが解散されるが、今後の対応を十分に検討されたい。
 - ・存続が危ぶまれている少年消防クラブについて、今一度中学校と協議し、ぜひ活動を再開されたい。
 - ・消防団本部員の災害時の初動活動の対策を望む。



- 職員の定数条例の一部改正があるが、事務事業に合った人員を望む。
- 農作物被害対策について、広域での対応について努力されたい。
- 空き家対策について、補助金を含めた対策を望む。

- 廃プラスチック回収がなくなり、可燃ゴミ処理費が増加している。ごみ処理の方法を様々な角度から調査研究されたい。



- 農業集落排水事業と公共下水道事業が公会計から企業会計に変更され、一般会計からの繰入金が増額になった。一般会計が圧迫されないよう検討されたい。

福祉文教委員会

- コミュニティスクールの初年度であり、学校運営協議会の主な役割・メンバー構成等について、教育目標に基づき偏りが発生しないよう求める。
- 小中学校の授業指導方針の変化や国際化に伴い、日本語指導・英語教育の充実に向け、教職員の研修等も含め手厚い指導を求める。
- 町民ふれあいプールの修繕計画・運営方針の明確化を求める。
- 中学校体育館の雨漏り対策について早急な対応が必要であるとする。



- 放課後児童健全育成事業でランチルームの活用が提案されたが、幅広い子育て支援での公共施設の活用を求める。

- 子育て支援拠点整備については、町長からコミュニティセンター周辺での計画に切り替えたため、準備期間として新年度予算計上はされないと説明があった。中身についての協議を今後いっそうしていきたい。
- 幼稚園嘱託職員（担任等）の処遇改善を求める。



- 社会福祉協議会への出向人事について、社会福祉協議会の自立を求める。
- デマンドタクシー運行について、周知徹底に努められたい。
- 健康ポイント制度の周知と、ポイント付与の工夫を求める。
- 後期高齢者医療保険料軽減措置の引き下げや窓口負担2割などにより、高齢者の生活支援について注視が必要である。

委員さん、どうぞよろしくお願いします。

教育委員会教育長の任命に同意しました。(2期目)

高橋 正郎 さん

人権擁護委員の推薦に同意しました。(4期目)

武山 ひとみ さん

あの人このひと

今回は、2期目となる **高橋 正郎** 教育長に登場していただきました。

『教育のまち坂祝』

坂祝町教育長

高橋 正郎



平成28年4月に教育長を拝命し、一期3年が経ちました。この度の議会で再任され、引き続き教育長を務めさせていただきこととなりました。これまで以上に、ご指導ご鞭撻くださいますようお願いいたします。

一か月ほど前になりますが、自分の心境を表している言葉に出会いました。

『教育は、夢で始まり、情熱で充実し、責任感で成就する。』

昭和57年4月に坂祝小学校で教員としてスタートして以来、「夢が語れなくなったら教育から身を引くべきである」と考えて現在に至っています。『教育のまち 坂祝』の推進に向け、様々な夢があります。また、3年前に坂祝中学校長を退職した

時以上に、頭の中や胸の内は、『教育に対する情熱』で満ち溢れています。さらには、教育委員会は、乳幼児から保育園、子ども園、幼稚園、小学校、中学校はもろろんのこと、社会教育全般、生涯学習に至るまで、『教育・学習』と名の付くものすべてに携わっています。今回の再任で、責任の重さをひしひしと感じています。

坂祝町では、この4月から『コミュニティ・スクール』をスタートさせます。これは、『すべての子どもたちを、社会や地域総がかりで育てよう』というものです。すべての町民が関わり合いながら、『教育』の充実を図り、町の活性化をめざしていきたいと思えます。

議

多

日

誌



3月5日
可茂聖苑視察



3月5日
中学校卒業式



3月7日
小学校ありがとう集会



3月9日
公民館まつり1



3月9日
公民館まつり2



3月10日
公民館まつり3

議長や議員が出席・参加した
主な行事・イベント



3月25日
小学校卒業式



3月31日
消防入退団式

私 が 思 う こ と

今回は坂祝町に住み、各分野でご活躍されている住民のお二人にそれぞれの思いを語っていただきました。

余生を坂祝町のために

井下 外茂



坂祝町といえば、想定されている地震による津波の心配もなく、比較的安全で安心な所のようにです。しかし、過去には木曾川の増水被害もあったし、約60年前の伊勢湾台風では相当数の家が倒壊したと聞きます。また、隣の福井県には多くの原発があり、ここで一度事故が発生し放射能が放出されれば、風向きいかんによって短時間で岐阜県に放射能が届くことが、6年前の「風せん飛ばし」の実験で明らかになっています。甚大な被害が出た東日本大震災から8年を経た今に至っても、被害の実態も事故の原因も解明されない中、国や電力会社は事故などなかつ

たかの如く原発依存をやめようとはせず、逆に強化する方向の理性無き対応を続けています。坂祝も決して安全な所といえなくなっています。

また、憲法を変えてまで日本を戦争のできる国にしようとする動きもある中で、坂祝町議会は3年前『安保法廃止の意見書』を採択し国に提出されました。本当に勇気づけられました。戦争は自らの持ち得る全ての知恵と力を見ず知らずの人々を殺す為に使うことであり、絶対してはならない最たるものです。そして最大の環境破壊です。戦争にならない為の努力こそが求められています。

私は昨年、子育て支援ワークショップの『つどい場ツクリバ』に参加したのをきっかけに町議会を傍聴するようになり、多くのことを学んでいます。一度議事日程に上がった議案を本会議の中で取り下げようとする

簡単にはいかず、相当時分本会議を休憩せざるを得ない事も初めて知りました。

議会傍聴しながら、坂祝町のためにできることを見つけ、退職後の生活を送りたいと思います。

心揺さぶる出会い

村岡 比斗美



私は、年に何回か同じ夢をみます。【オレンジ色のタータンの上を助走し、全身を弓にして、真っ赤な槍を空に放つ。気持ちよく槍は飛んで。】

高校3年生の夏、陸上部で槍投げをしていた私は、県で優勝し、東海大会へ出場が決まりました。

個人競技の陸上部は、個々に引退をします。友達が引退し、気力が出す、

ほとんど練習をしないで東海大会に臨み、最悪の結果で終了しました。

初めての挫折と後悔、涙が出るばかりでした。それから、何年も陸上競技から離れていました。

坂祝に住み、ちょうどリーマンショックの頃、私の子育て暗黒時代です。喘息の子供を抱き、壁にもたれて寝る、へとへの毎日でしたが、保育園の園長先生の励ましで乗り越える事が出来、本当に感謝しています。今では、子供は元気にバスケ部で走り回っています。

子育てが落ち着いてきた一昨年、偶然、陸上部の恩師にお会いしました。夢の話をする、あの頃と変わらず、「今からでも、練習に付き合うからやってみなさい」と言っただけです。辛いのは筋トレですが、坂祝スポーツクラブで教室を紹介して頂き、元ウエイト選手の先生と教室

の皆さんと、楽しく筋トレしています。東海マスタートーズ陸上競技会入賞を目標に日々練習中です。

坂祝にもスポーツ施設や教室があります。置き去りの夢がある方や、身体作りをしたい方、是非参加してみてください。

私も、お世話になった先生方の様に、次世代へ自分の技術を引き継げる日が来たら、と思っています。



編集後記

議会も顔ぶれが変わります。これまで以上に町民の皆様とのあわせのために議員全員で取り組んでまいりたいと思っています。どうか、議場にも足をお運びください。

広報編集委員会